

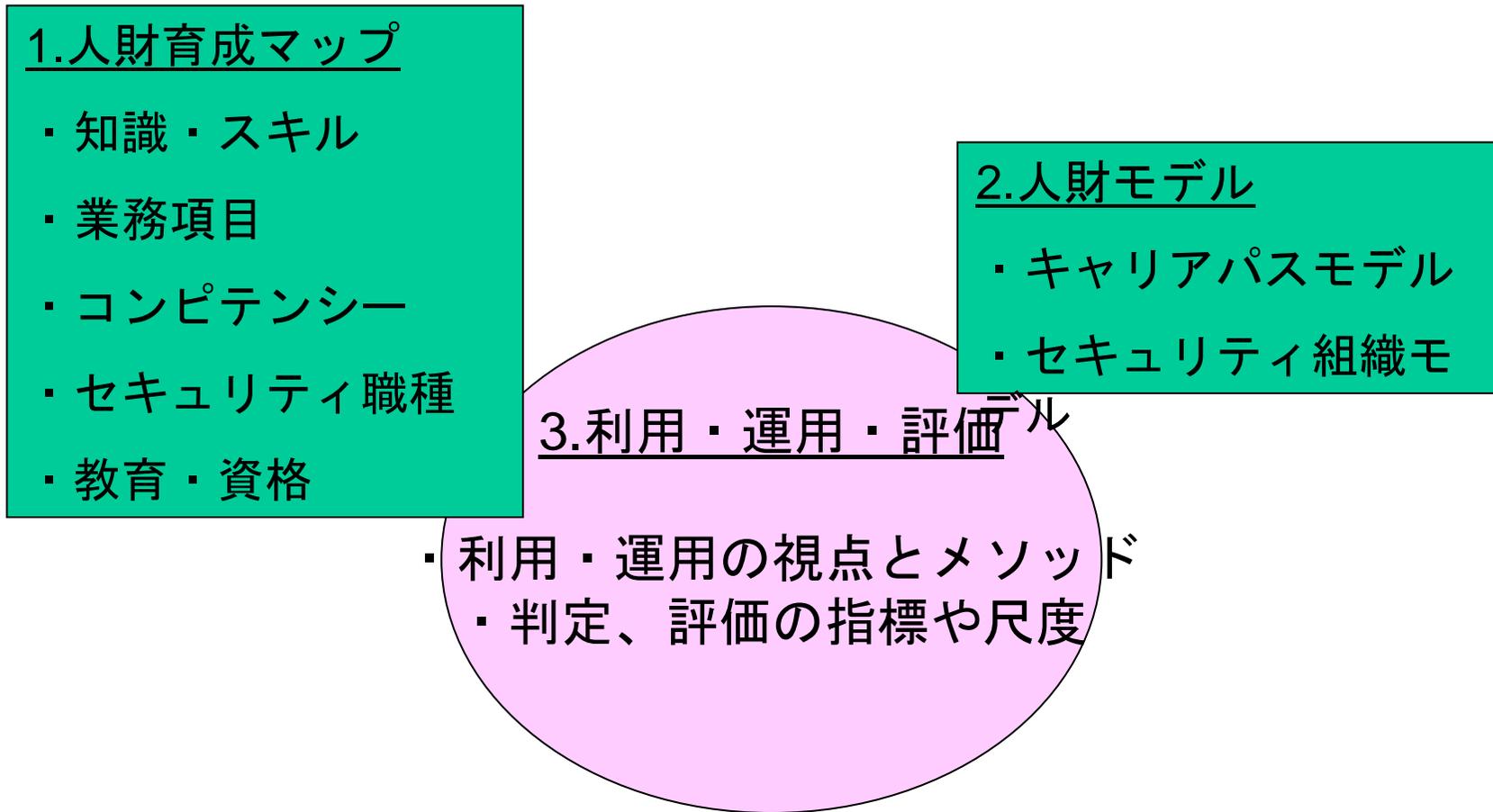
人財アーキテクチャの活用・実証方法及び方向性について

衣川 俊章

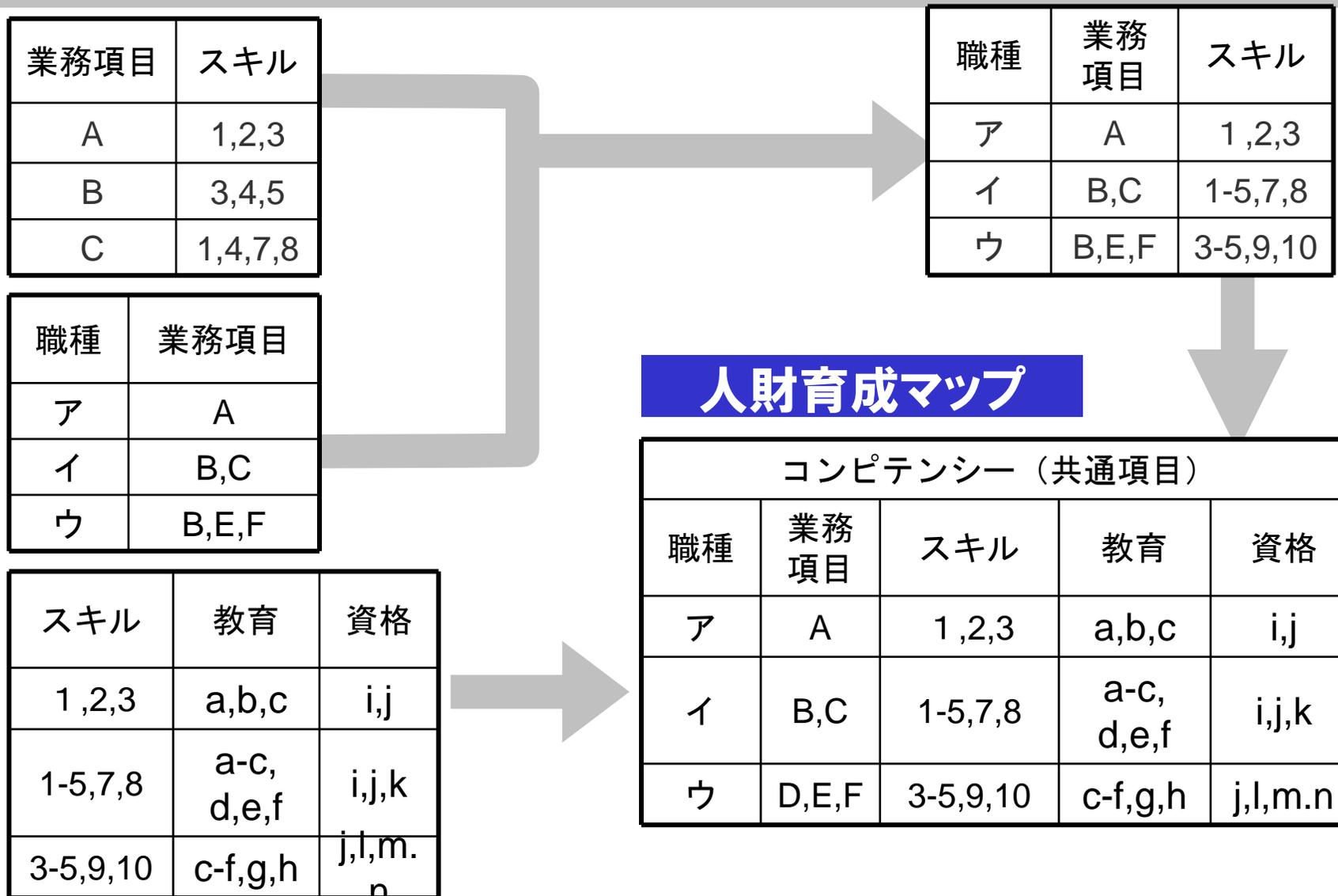
ISEPAスキルWGリーダー

(ISC)2ジャパン 代表

2010年1月27日



人財育成マップ策定プロセス

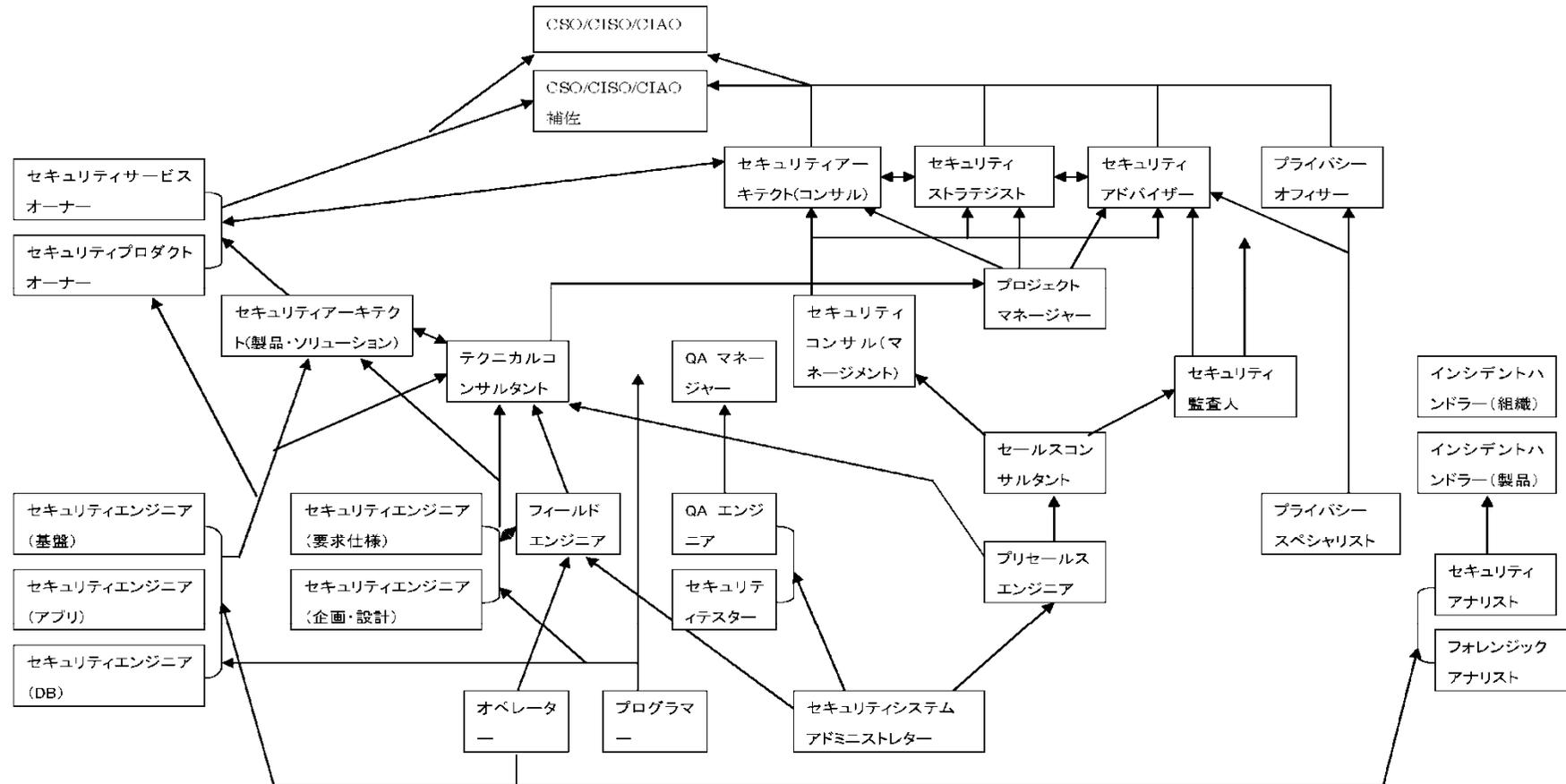


人財育成マップ・サンプル



職種名	セキュリティコンサルタント(マネージメント)		
定義	情報セキュリティ戦略立案から、情報資産の管理・運用方法の策定までに 関し、顧客の問題解決を支援する。	所属企業・部署グループ	サービス・製品提供組織 営業
業務項目	スキル・知識		
必須業務:	必須:		
単一の技術や基盤に依存する事 のリスクを改善できる	知識項目	大分類	中分類
情報セキュリティに関する共通 化された物を使用して要求仕様 が作成できる	情報セキュリティマネジメン ト	マネジメント概論	セキュリティマネジメン トの基本 マネジメン トプロセス 関連知識
相互依存性解析の成果を踏ま えた情報セキュリティ基準等が 検討できること			セキュリティポリシー
災害発生時における対応等、 横断的な取り組みと整合性の 確保・連携について検討が できること			リスク分析
情報セキュリティ管理も重視 した標準的な情報サービス マネジメントの導入ができる こと	ネットワークインフラセキュ リティ	ネットワークインフラセキュ リティ	概論
情報セキュリティポリシーの 改善ができること	アプリケーションセキュリティ	アプリケーションセキュリティ 【Web】	概論
定常的な評価のスケジュール や評価項目、評価項目選定の 趣旨について策定できること		アプリケーションセキュリティ 【モバイル】	
情報セキュリティ対策に関する 評価指標の確立が出来ること			規格・基準・指針・ガイド ライン等 (国際)
第三者評価の活用を促進 できること			
第三者評価の結果等を活用 した情報セキュリティ対策の レベルの向上が出来ること	推奨:		
各業務・システムの最適化 ができること	知識項目	大分類	中分類
IT障害、リスクについての 分析と改善			
CSIRTに対する情報提供 体制の構築&確立			
事故、災害や攻撃に対して、 事前に考えられる対策を 十分に施せる			
情報セキュリティに関する 取り組みについて全体とし ての整合性が確保できる			
実施可能業務:			
サイバー攻撃等に関する 脅威/影響度の分析・対 処能力を向上させるため の機材選定ができること			
適切な暗号化及び電波の 範囲設定等の対策			
事業継続計画の策定			
クラウド環境でのセキュリティ 対策の検討ができること			
個人情報保護、営業機密 管理			
インシデント対応			
教育			
CMU, SPIA-M, LAC-B5-18, RC-27K-1,2,3,4,5,6,7, CMU, SANS-SEC401, MGT411, IS-ISMS, ISMS Audit, BCM, BCM Audit			
資格			
CISA, CISSP, SEAJ-M, CAIS, SANS-GSEC, SANS-G7799			

キャリアパス モデル – ToBeモデル



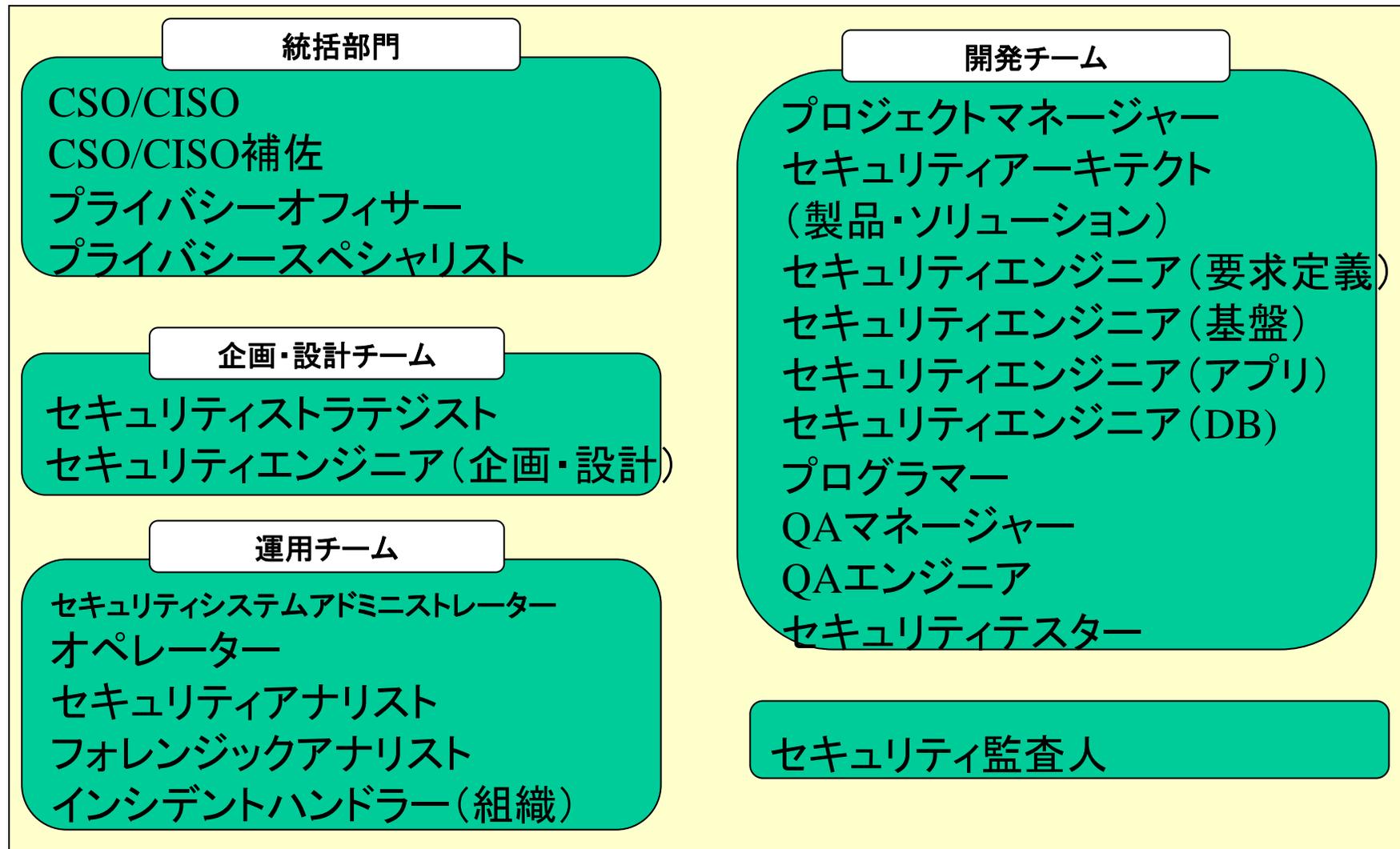
★各職種の業務項目の相関性をベースに、レベル感も入れ込んで作成

組織モデル

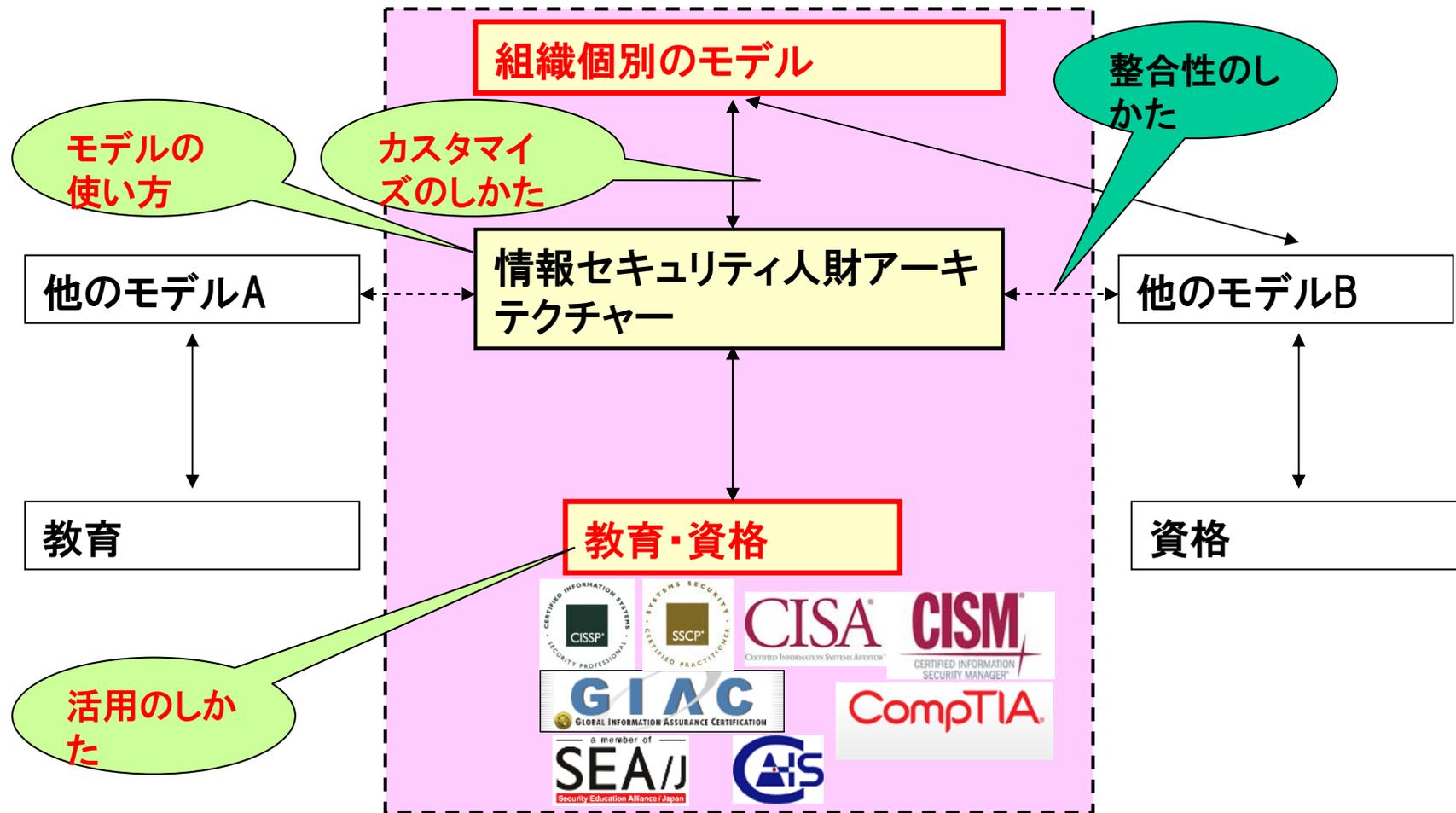
一 企業内情報セキュリティ機能



★ 自社完結モデル

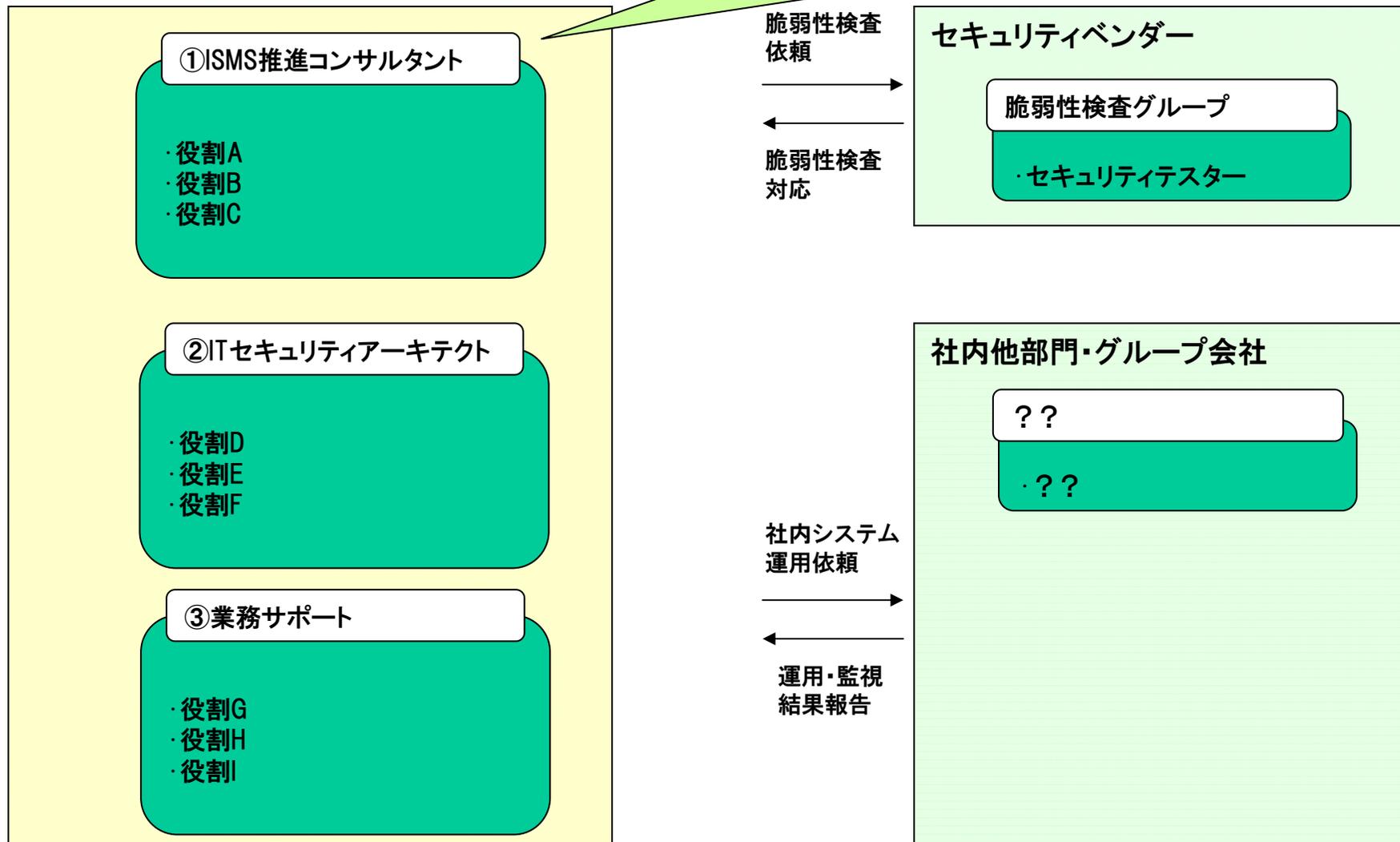


アーキテクチャ活用方法案



組織モデルのカスタマイズ(案)

「組織モデル」「人材育成マップ」をもとに検討



知識分野のカスタマイズ(案)



■ 役割Xの場合のイメージ

知識分野	レベル1	レベル2	レベル3
情報セキュリティマネジメント	○		
ネットワークインフラセキュリティ	○	○	○
アプリケーションセキュリティ	○	○	
OSセキュリティ	○		
ファイアーウォール	○	○	○
侵入検知	○	○	○
不正プログラム	○	○	
セキュアプログラミング技法	○		
セキュリティ運用	○	○	○
コンテンツセキュリティ	○		
認証	○	○	○

□アーキテクチャの精度をより上げていく為の情報収集や実証実験を展開していく

- 他団体との意見・情報交換
 - スキルマップ・標準などを策定している団体と、本アーキテクチャとの整合性をつけていくための手法などについての意見交換を実施する
- アーキテクチャ利用企業へのアプローチ
 - アーキテクチャを利用し人材育成を計画している企業を特定し、そこへのアドバイス、サポートを行う
 - 前述の活用方法案の「カスタマイズの仕方」「モデルの使い方」などを企業毎に当てはめて、個別モデル策定
 - 実際の人材育成へのサポートも提供

□アーキテクチャの精度をより上げていく為の情報収集や実証実験を展開していく

■人材調査

- 特に、非資格保有者や学生などにターゲットを絞り、資格に対する認識や取得動機、取得を妨げている要因などをヒアリング
- IT企業に限らず、一般企業や地方公共団体、大学・専門学校も調査対象とする
- 総務省で実施の資格保有者向け調査と併せて分析する事で、資格の現状に関する全体像を把握する

これらの活動に参加していただける方を募集しています！！

